くまもとしきょういくいいんかいこうほうし
熊本市教育委員会広報誌

with you

知りたい！
学校の取組
地域の取組

未来の富合の街づくりを
提案します！ 1ページ

わたしたちの熊本の海から学ぶSDGs
～暮らし・環境・食のつながりをみつめて～ 2ページ

広げよう地域教育の輪
～城北小PTA について～ 3ページ

学びたい

幼少連携支援員・
幼稚園担任補助員の紹介
Part2 4ページ

天明校区施設一体型
義務教育学校基本計画を
策定しました 5ページ

必由館高等学校の
改革基本計画を
策定しました！ 6ページ

「優秀教職員表彰」
被表彰者10人決定！ 7ページ

熊本市の教育の基本理念

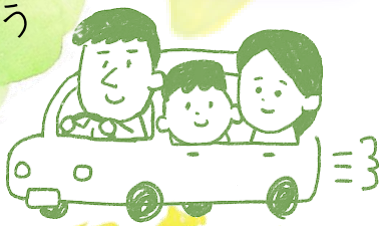
豊かな人生とよりよい社会を創造するために、
自ら考え主体的に行動できる人を育む

そのためにやっていること、これから取り組むこと
いろいろな活動を紹介します

楽しもう

小・中・高校生が活躍！
中央区まちづくりマンガスクール
オリジナルマンガ テーマはまちづくり
9～18ページ

出かけよう



企画展
「立田山～身近な自然の魅力～」

読んでみよう！熊本市立図書館
「おすすめ図書」
8ページ

電子版 Vol.13
2023.2月号
熊本市教育委員会

未来の富合の街づくりを提案します！

この記事は主に
保護者、中高生向け

富合小、中学校では、9か年を見通した「総合的な学習の時間」の地域（とみあい）学習を柱に探究的な学習活動を行いました。中学1年生は、「富合の人とつながりたい～富合町の再発見～」とし、まちづくりセンターや自治協議会のご協力のもと、富合町のよさについて学びました。2年生は、「富合町で働きたい～将来の生き方や職業について～」をテーマに、地域の方の職業講話やしごと学びWEBライブ等を活用し、マップにまとめてＨＰで発信しました。

写真は、11月1日の3年生の取組で、テーマを「富合町を盛り上げたい～未来の富合町を考えよう～」とし、熊本市市街地整備課の協力のもと、まちづくりの提案を行いました。

江 南区長、水町 まちづくりセンター所長、市街地整備課の職員が来校し、中学生の視点で考えた「未来の街づくり」の提案を行い、意見や評価をもらいました。様々なデータを集め、根拠を示しながら、納得していただける説得力のあるプレゼンテーションを目指しました。今後の街づくりに活かしていただければ・・・と夢が広がる活動となりました。

わたしたちの熊本の海から学ぶ SDGs
～暮らし・環境・食のつながりをみつめて～

この記事は主に
保護者向け

西原中学校では、１ 年生の総合的な学習の時間において、「私たちの熊本の海から学ぶ SDGs」というテーマについて、熊本の海洋環境についての探究学習を進めています。

９月 集団宿泊教室

県立あしきた青少年の家にて集団宿泊教室を行いました。「水俣環境講話」では、海中映像など水俣の海をたくさん見せていただき、水俣の環境について改めて考える機会になりました。

10 月 学校給食で天草の養殖鯛のフライ食べた後、海洋環境交流 「養殖業と海洋環境～環境と食のつながりについて考えよう」

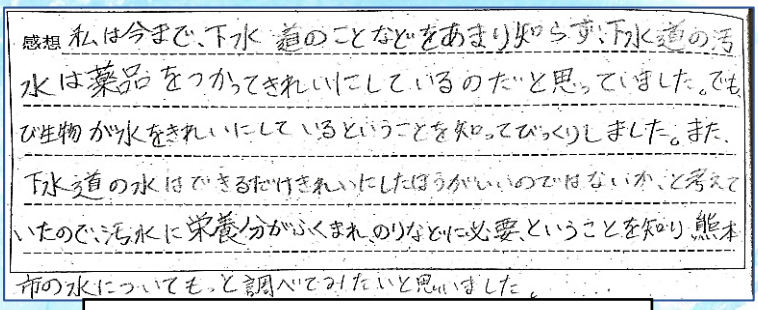
海洋環境オンライン交流

給食の鯛フライ献立

給食で無償提供（コロナ対策事業）された鯛フライを食べた日の午後、総合的な学習の時間において、熊本県海水養殖漁業協同組合の職員の方・実際に鯛を育てられた方とオンラインで教室をつなぎ、養殖鯛の育つ海洋環境などについて学習しました。事前に準備しておいた質問に答えていただく時間もあり、食べているものと環境のつながりについて考えることができました。

11 月 海洋環境シンポジウム in 西原中 ～食・水・環境に関わる職業の人たちに聞こう～

暮らしと環境についての探究学習は、身近な地域の環境課題についての学習へと進みました。熊本市水産振興センター、環境局環境政策課、環境局水保全課、上下水道局計画調整課の職員をパネリストとして迎え、私たちの食と環境がつながっているということについてそれぞれの立場から話していただきました。食と水と環境に関して多角的に話していただく中で、「自分の行動一つが環境と繋がっているという意識をもつ」などの貴重な話を聞くことができました。


感想 私は今まで、下水道のことなどをあまり知らず、下水道の汚水は薬品をつかってきれいにしているのだと思っていました。でも、び生物が水をきれいにしているということを知ってびっくりしました。また、下水道の水はできるだけきれいにしたほうがいいのではないか、と考えていたので、汚水に栄養分がふくまれ、のりなどに必要ということを知り熊本市の水についてもっと調べてみたいと思いました。

海洋環境シンポジウム後の生徒の感想

生徒たちは住んでいる熊本の海からＳＤＧｓに関連して学び、暮らしと食とつながっている環境課題にも気づくことができました。３ 学期は、探究学習のまとめの段階に入り、さらに学習は２ 年生学活の「夏休みの食チャレンジ」などにつないでいきます。

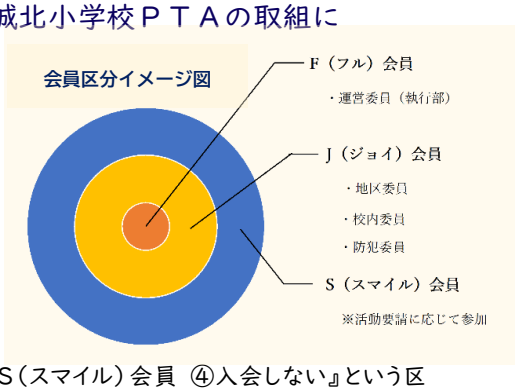
広げよう地域教育の輪

この記事を主に
保護者向け

特色ある地域教育の取組をリレー方式で発信し、子どもたちの多様な学びを支援します。
今回は令和４年度優良ＰＴＡ文部科学大臣表彰を受賞された城北小学校ＰＴＡの取組について、小嵜 PTA 会長からお話しを伺いました。

～城北小 PTA について～

城北小 PTA では、平成 30 年から「**関わり方改革**」に取り組んでおられます。定例会の時短など、できることから取り組むという姿勢が、コロナ禍で順応した組織改編につながっているそうです。コロナ禍でPTA活動が休止した状況を打破するために実施されたアンケートは、7 割を超える会員から回答があり、提示した改編案に、要望・提案を反映して組織改編に着手されました。
そこで導入されたのが、「一家庭一役制」から「**会員区分制**」の導入（図参照）です。



活動内容や関わり方の多少を考慮して、『①F（フル）会員 ②J（ジョイ）会員 ③S（スマイル）会員 ④入会しない』という区分を設け、年度始めに行う配信メールの登録時に、保護者・教職員（会員）自らがエントリーするようにされました。また、“活動に携わる時間を会費に転換する”という観点から、会費の金額に差をつけられました。この取り組みで、「活動に参加できなくて申し訳ない」というのではなく、“活動に参加しなくても関われている”という連帯感が生まれることを期待されているそうです。

また、課題であった「PTA活動の見える化」とコロナ禍で希薄になりつつあった地域との関係作りのために「**じょいちゃんねる 44**」というプロジェクトを企画されました。「じょいちゃんねる 44」は電子版と掲示版を用意し、電子版：YouTube チャンネルを開設（右記ニ次元コード参照）し、掲示版：空き教室に地域団体さんを紹介する掲示物を常設されています。

じょいちゃんねる 44

自主的に登録する区分で行う活動は、自由に積極的に取り組むことができたため、コロナ禍でも変容した活動の創造をできたことが、令和 4 年度優良 PTA 文部科学大臣賞の受賞につながったと考えられています。

～地域との協働性のあるイベントを変容して取り組む～

むかし遊び（清老会ブース）

城北小校区には、地域が誇るイベント「**ふれあいの日**」があります。このイベントは「地域に開かれた学校」の象徴となるイベントの企画を学校から相談を受けたＰＴＡと自治会さんが協議し、平成１８年から続いています。ＰＴＡが事務局を務め、２２の地域団体さんが食バザーや体験コーナーの出店を行い、毎年１０月の第一日曜日に児童のみならず、地域で楽しむ秋祭りとなっているそうです。コロナ禍で休止していた本イベントを、今年度は感染リスクが高いとされる食バザーは行わず体験コーナーのみとすることで開催されました。校庭には笑顔があふれ、変容して開催したことの意義の大きさと、地域との協働性の高さと大切さを改めて実感されたそうです。

キャンドルイベント
城千灯（じょうせんとう）

～関わりこそ PTA の本分～

小嵜会長は、「何かをしたいと思ったら迷わず考え、行動をおこすこと」＝『感動すること』を信条とされています。また、「学校での学びの他に、様々な経験ができる環境を子ども達に整えることができる」のが会長と考えておられます。小嵜会長は、ＰＴＡという組織があるから、多くの人や団体さんとお会いする機会に恵まれ、個人では実現できないイベントや行政への要請も実現することできるとおっしゃっていました。

ＰＴＡは単に“子どものための組織”なのではなく、PTA 活動を通じて保護者・教職員相互の人間関係の構築や学び・気づきを得られることから“社会教育関係団体”といわれます。城北小ＰＴＡでは、「**関わりこそ PTA の本分**」とおっしゃる小嵜会長のもと、学校・子ども・保護者・地域と新たな様々な“関わり”を生んでいます。

<問い合わせ先（とあわせさき）>青少年教育課（せいしょうねんきょういくか） ☎３２８－２２７７

幼小連携支援員・幼稚園担任補助員の紹介 Part2

この記事を主に
保護者向け

今年度から、「熊本市立幼稚園まなび創造プログラム」の施策として、幼稚園6園に配置された先生（幼小連携支援員、幼稚園担任補助員）について紹介します。
第2回は、楠幼稚園です。

幼小連携支援員

担任と話し合いながら、保育の援助をしてもらっています。特に年長組に関しては、小学校入学へ向け、接続カリキュラム等を意識したアドバイスを幼稚園教諭が受けることができます。ともに高め合いながら、保育を進めていけとても良い相乗効果となっています。幼稚園経験のある男性教諭の存在は、とても大きいです。

担任からの一言　いつも子ども達の目線に立ち、広い視野を持ったアドバイスに、ハッと気付かされることが多いです。また担任の思いを聞きながらの援助が、とてもありがたいです。

幼小連携支援員から一言

幼児教育に携わる機会に恵まれるとは思いもしなかった 20 数年前。今は亡き祖父から幼き私への書を見つけました。それには、『育児所の庭の教えは狭けれど、広き世に立つ基とはなる』と。
今この言葉をかみしめながら、保育に関わる日々を楽しんでいます。

幼稚園担任補助員

入園当初、慣れない園生活をする年少組の子ども達にとって、そばで寄り添ってもらえる先生の存在はとても安心感がありました。担任との共通理解を図りながら保育を進めてもらっています。担任と一緒に、子ども達の成長に一喜一憂の日々です。行事などにおいて、ピアノの伴奏もお願いすることで、担任が子ども達のそばで援助をすることができるようになりました。

担任からの一言　担任の手の届かない時に、そっと子ども達に寄り添い、支援の必要な子どもに根気強く関わって生活習慣を繰り返し支援してもらえる、とても心強い存在です。

幼稚園担任補助員から一言

子ども達の曇りのない瞳と素直な言動に、教育というものを一から学びなおしているような気持ちになります。
幼稚園の先生達の巧みなリードで、子ども達がぐんぐんやる気を出して成長していく姿に感動を覚える毎日です。

天明校区施設一体型義務教育学校
基本計画を策定しました

この記事は
全ての方向け

天明校区における本市初の施設一体型義務教育学校※設置に向けて、新設校の位置や望ましい教育の方向性について検討を重ね、義務教育学校における教育の基本的な考え方や施設整備などの在り方を「天明校区施設一体型義務教育学校基本計画」として取りまとめました。

※前期課程（小学校）から後期課程（中学校）まで、義務教育（９年間）を一貫して行う学校です。「義務教育学校」は、１つの教職員組織で、校長は１人配置されています。前期課程（小学校）と後期課程（中学校）の校舎が隣接や分離しているものもあれば、一体化したもの（天明校区施設一体型義務教育学校）もあります。

基本計画における教育の基本的な考え方と施設整備方針

１．小中一貫教育に適した教育環境の整備
１）多様な学びのあり方に柔軟に対応できるよう、教室まわりに少人数教室や交流スペースを設置
２）前期課程（小学校）・後期課程（中学校）の職員室を一体的に整備
３）少人数で交流できるスペースと表現力の向上を目指した多目的ホールを整備

２．社会状況の変化に対応する教育環境の整備
１）文部科学省が提唱するＧＩＧＡスクール構想等を参考に、適切な教室面積を確保
２）インクルーシブ教育システムの構築・性の多様性の尊重
３）教職員の働く場としての機能向上
４）将来の教育ニーズの変化を踏まえ、室の可変性を考慮した整備を検討

３．先進的・特色あるカリキュラム、教育課程の編成
１）主体的に考え行動する力を育む教育の推進
２）最適な教育環境の整備

４．避難所機能を有した施設整備
１）想定される災害時の浸水規模に耐え得るよう、４階建ての校舎や備蓄倉庫等の設置
２）緩い地盤状況を踏まえた液状化対策を検討
３）地域住民の校舎屋上への避難までを想定した外階段の設置等、避難安全性の高い計画を検討

５．通学支援
１）通学距離が遠くなってしまう児童が見込まれるためスクールバスでの通学を検討
２）停留所及び待機スペース、運用方法（直営・委託）、ＥＶバス導入の適否等について検討

６．閉校後の小学校の利活用とまちづくり
１）利活用については地域の方々のご意見を伺うとともに、施設の老朽化状況等をみながら検討
２）地域の方々や民間事業者と共に、天明校区のまちづくりに寄与するあり方を検討

開校予定

令和９年（２０２７年）４月（予定）

ＱＲコードはこちら

＜問い合わせ先＞詳しくは、熊本市ホームページをご覧ください。

学校改革推進課　☎328-2708

ひつゆうかんこうとうがっこう　かいかくきほんけいかく　さくてい

必由館高等学校の改革基本計画を策定しました！

この記事は
全ての方向け

必由館高等学校の教育内容の一層の魅力化を図り、新たな時代に対応した学校とするため、市立高等学校・専門学校改革基本計画（必由館高等学校編）を策定しました。

必由館高等学校改革のポイント

1. 市立高等学校・専門学校改革の基本理念

自ら考え、主体的に行動し、多様な人々と協働しながら、自らの人生とよりよい社会を創造する力を育てる学校へ改革する

2. 市立高等学校・専門学校に共通する三つの特色

(1)「市立ならでは」の特色ある学校

少人数クラス編制（千原台高等学校情報ビジネス探究科においては 1 クラスあたり 30人、必由館高等学校においては 1 クラス 30人または 35 人）、多様な個性や才能、生活背景等を持つ生徒の受け入れのための支援や市独自選抜導入　など

(2)探究的な学びを推進し、社会と積極的にかかわっていく学校

市役所、地域企業、大学等と連携した課題探究型学習、自己の興味関心・進路選択に応じた探究学習　など

(3)生徒が主体的に学校づくりに参画する学校

学校運営への生徒の参画、生徒の主体性を尊重する教員の専門性向上　など

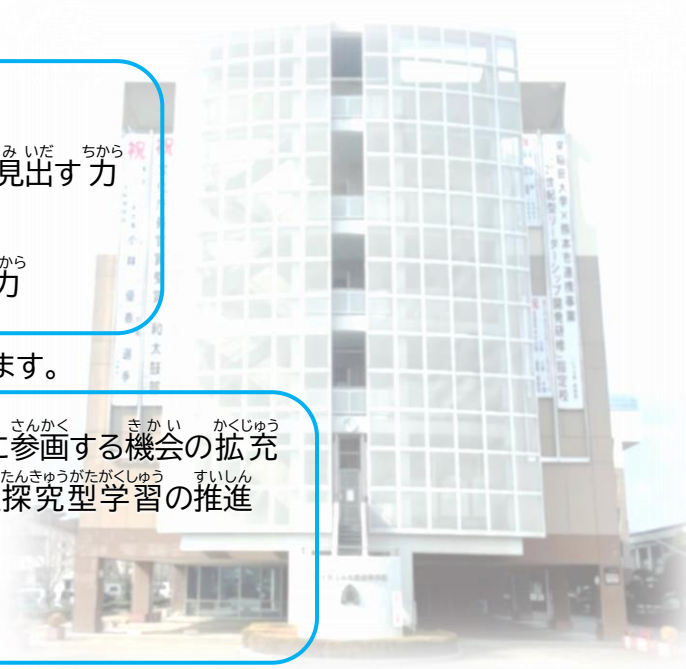
3. 必由館高等学校の目指すべき学校像（令和5年度策定予定）

熊本市立必由館高等学校は、熊本市の未来を拓き、健康で心豊かな人生と幸せな社会を生み出す、次のような資質・能力を有したリーダーを育成します。

・多様な価値観を尊重し、新たな価値を創造する力
・地域社会や国際社会に関する理解を深め、課題や魅力を見出す力
・分野横断的に課題を分析し、論理立てて表現する力
・自己の興味・関心に応じて、生涯にわたって学び続ける力

この目的のため、「市立ならでは」の次のような取組を行います。

・多様な生徒一人ひとりが主体的かつ協働的に学校づくりに参画する機会の拡充
・市役所、市立専門学校、大学、企業等と連携・協働した課題探究型学習の推進
・文理融合等の教科等横断的な学習の推進
・芸術・生活デザインに関する専門的教育の推進



4. 必由館高等学校の新学科・コース

文理総合探究科（仮称）（新しい普通科）
- 文理コース（仮称）　（35人×7 クラス）
- 芸術コース（仮称）　（30人×1 クラス）
- 生活デザインコース（仮称）（30人×1 クラス）

5. 必由館高等学校の学科改編の予定

令和6年4月（予定）

「文部科学省普通科改革支援事業」指定校

《問い合わせ先》
学校改革推進課
TEL　328-2708

詳しくは、熊本市ホームページをご覧ください

「優秀教職員表彰」被表彰者１０人決定！

この記事は
全ての方向け

教育委員会では学校教育において、次世代を担うリーダーにふさわしい積極的な取組を行い、顕著な成果を挙げた教職員を毎年１０人程度、熊本市教育委員会優秀教職員として表彰しています。今年度は、学習指導や生徒指導、特別支援教育、学校保健、学校給食などそれぞれの分野において、本市教育の推進に大きく貢献した１０人の教職員が受賞しました。

１１月１６日に行われた表彰式では、松島教育次長から被表彰者一人一人に表彰状と副賞が授与されました。表彰された教職員は以下のとおりです。

前列左から

砂取小学校	龍　忍	教諭
帯山小学校	清水　佳代	教諭
託麻東小学校	阿部　一貫	教諭
桜木小学校	馬原　大介	教諭

後列左から

龍田西小学校	清水美夏子	養護教諭
花陵中学校	陣内　祥三	教諭
城南中学校	岩代　大助	教諭
西原中学校	松岡　珠美	栄養教諭
日吉中学校	坂本　良	教諭

写真右上

小島小学校	綾戸ゆかり	教諭

＜問い合わせ先＞ 教職員課 ☎３２８－２７２０

企画展「立田山―身近な自然の魅力―」

この記事は
全ての方向け

立田山は熊本市の市街地にあり、身近に自然と触れ合える場所として親しまれています。また、数多くの生きものが生息しており、地域の自然環境としても重要な場所です。本展では地質や動植物の資料により、立田山の成り立ちや変遷、生息している生きものなどについてご紹介します。立田山の魅力を知り、自然との関わり方についても考えてみましょう。【会期：令和５年（2023）３月18日（土）～５月14日（日）】

●関連イベント●

●ミュージアムトーク

各分野の学芸員が約30分間の展示解説を行います。
期日：植物　3月21日（火・祝）13：30～
　　動物　4月 1日（土）　13：30～
　　地質　4月16日（日）　13：30～
いずれも申し込み不要。
開始時刻に特別展示室３にお越しください。

●講演会「立田山ってどんな山？ 動物たちの今むかし」

期日：3月25日（土）14：30～16：00
場所：熊本博物館プラネタリウム室
講師：安田 雅俊 氏（国立研究開発法人森林研究・整備機構　森林総合研究所　九州支所）
定員：110名
申し込み不要。当日9:00より１階受付にて整理券を配布いたします。

●観察会

植物編　4月23日（日）10：00～11：30　申込：4月 9日（日）必着。当選者には4月15日（土）までに通知。
動物編　4月30日（日）10：00～11：30　申込：4月16日（日）必着。当選者には4月22日（土）までに通知。
各回定員20名程度（応募多数の場合は抽選）
現地集合、天候により中止とする場合があります。※場所については当選者へ通知。
申込方法：往復はがき、または博物館ホームページ申込専用フォームよりご応募ください。

<問い合わせ先> 熊本博物館 ☎324－3500

読んでみよう！熊本市立図書館「おすすめ図書」

熊本市立図書館では、児童・生徒の皆さんに読んでもらいたい良書「おすすめ図書」を図書館発行のガイドブックと3種類のリーフレットにそれぞれ掲載し各図書館・公民館図書室で配布しています。また市立図書館ホームページ「子どものためのおすすめ本ガイド」にも掲載中です。

ガイドブック	「としょかんへおいでよ 1・2 ねんせい 100 冊 」
リーフレット	「小学校 3・4 年生のための 30 冊」
	「小学校 5・6 年生のための 30 冊」
	「中学生のための 30 冊」

「おすすめ図書」は毎年少しずつ本を新しく入れ替え、それに伴いガイドブック・リーフレットも更新しています。令和3年度、4年度の2年間で中学生、小学校3・4年生向けを15冊入れ替え、令和5年度は小学校 5・6 年生向けも15冊新しく入れ替える予定です。1・2年生向けも今後の入れ替えに向けて選書中です。

「おすすめ図書」はどの本もページをめくると、**皆さんを楽しいお話の世界へ連れて行ってくれます。**

ぜひ、ガイドブックやリーフレットを参考にして読んでみてください。

<問い合わせ先> 熊本市立図書館 ☎363－4522

この記事は主に
小 中 学生向け

小・中・高校生が活躍！
中央区まちづくりマンガスクール

オリジナルマンガ テーマは「まちづくり」

令和4年（2022年）7月30日～9月11日、熊本市（中央区まちづくりセンター）主催で「中央区まちづくりマンガスクール2022」が開催されました。

熊本市内の小学生から高校生までの10名が、「まちづくり」を知って考えて、「まちづくり」をテーマとしたオリジナルのマンガづくりにチャレンジしました。

今回は、このスクールで発表された作品のうち、3点を掲載しました。ぜひご覧ください。

講座（全6回）日程・内容

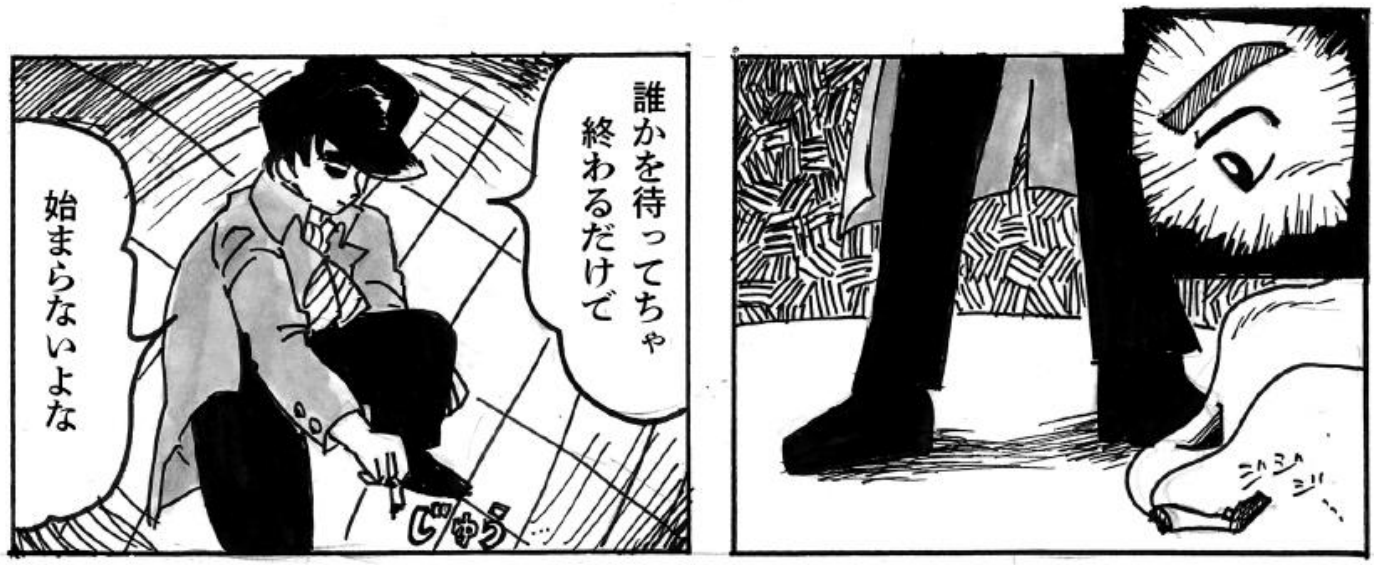
※令和4年度の実施内容です

第1回：	7月30日（土）14時～16時	・・・マンガの設計図である“ネーム”を作ろう 「まちづくり」を知って、描きたいマンガを考えよう！
第2回：	7月31日（日）14時～16時	・・・下書きスタート
第3回：	8月　6日（土）14時～16時	・・・下書きを進める
第4回：	8月11日（木・祝）14時～16時	・・・ペン入れなどの仕上げスタート
第5回：	8月20日（土）14時～16時	・・・仕上げ完成、マンガ提出
第6回：	9月11日（日）14時～16時	・・・講 評 プロのマンガ編集者から、完成した作品への感想やアドバイスをもらおう！

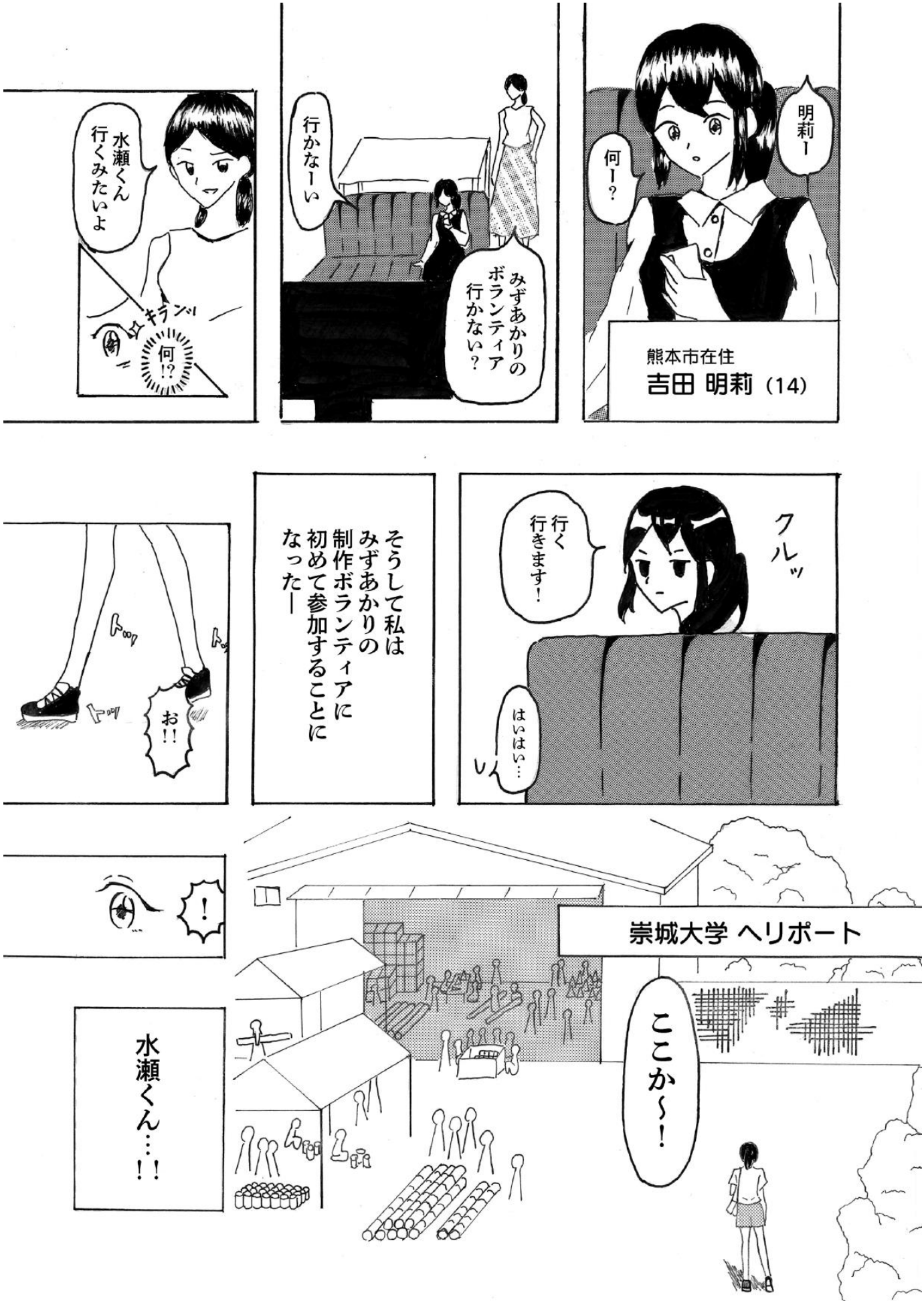
実施終了

作者（ペンネーム）：那津屋 純花 さん（東稜高校）

〝まちをつくる〟ね…
ジジジ…
火事だ!!
タバコの火がゴミに燃え移ったぞ!!
特にゴミが酷かったよな
助けて!! 子どもがいるの!!
パチパチ


誰かを待ってちゃ
終わるだけで
始まらないよな
じゃう…

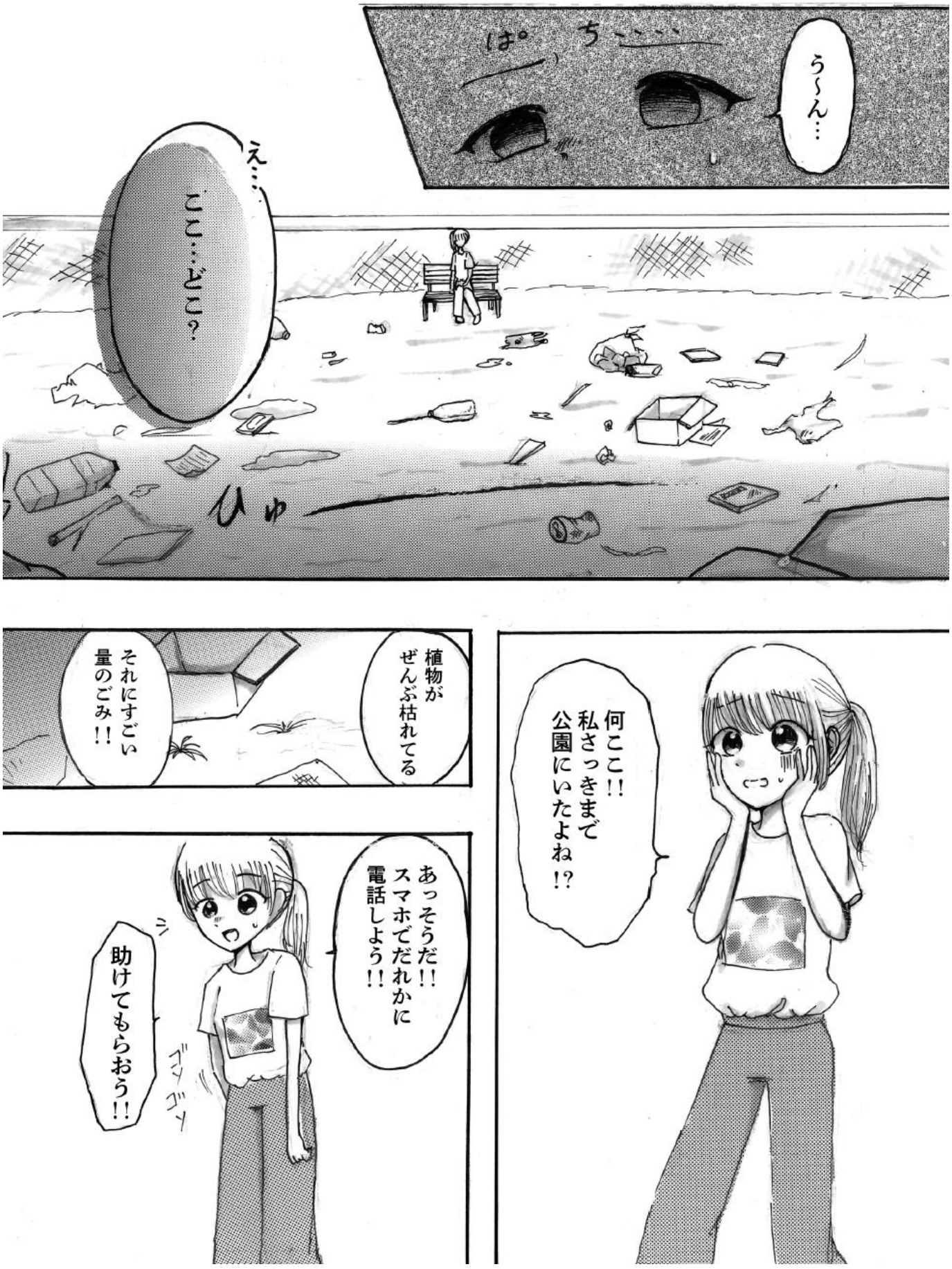
作者（ペンネーム）：ゆきタロウ さん（藤園中学校）



お！
…よし
頑張れ！
ニコッ
おはよっ！
昨日も参加したの？
そうだよ
私初めてなんだ
教えてくれない？
うん
やった…！
ふれてる…
ガガガガガガガガ
器用…
視線を感じる…
ぬり
ぬり
楽しー
カレーうまっ
ガヤ
ガヤ
…あっあのさ!!
もしよかったら
当日一緒に
まわってくれない
かな？

いいよ
一ヶ月後
行幸坂
あ！
見えてきたよ！
きれい
うん
来年も
一緒に見たいな
えっ
つっ
うん！

作者（ペンネーム）：うさみ さん（中学1年生）



え…
パッ
16:38
3000年8月
うそ…ここは
未来の地球なの!?
ガクッ
未来の熊本は
こんなに
汚れてしまうの!?
なんか…
ふらふらする…
ぐらっ
ここは…
いつもの
公園…?
私 寝てたの…?

ってことは…
あれはゆめ？
？？
キラ
キラ
たっ
あのっ
おてつだいしても
いいですか？
ありがとう!!
じゃあ…ごみひろい
手つだってくれる？
たとえあの
世界がゆめでも
これからは
未来のことを
考えて
人のやくにたてる
ことをしていこう!!